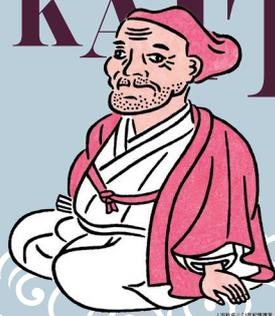


大阪の地における学問の命脈の継承

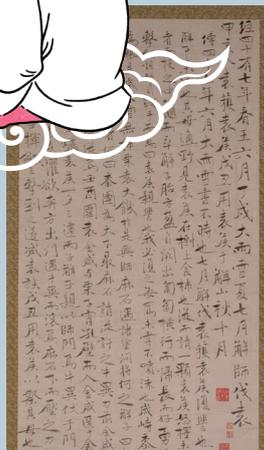
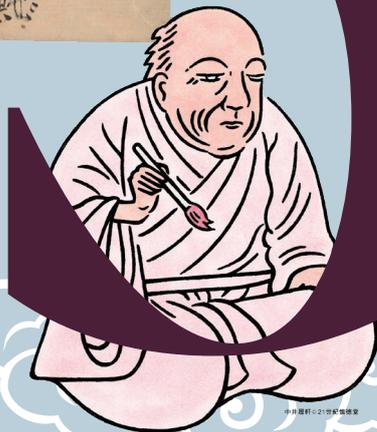
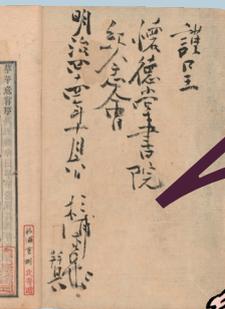
KAITOKUDO



300

th

ANNIVERSARY 1724-2024



大阪大学総合学術博物館 第26回企画展 懐徳堂創立300周年記念展覧会

懐徳堂って知ってはる？

—大阪大学が受け継ぐなにわ町人の学問所

会場 **豊中** } 2024 **10/12** → **12/7**
大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館3F 多目的室

会場 **中之島** } 2024 **10/24** → **30**
大阪大学中之島センター4F
大阪大学中之島芸術センター展示室

2会場とも **入館料無料**

主催＝大阪大学ミュージアム・リンクス(大阪大学総合学術博物館、大阪大学適塾記念センター、大阪大学アーカイブズ)、一般財団法人懐徳堂記念会
共催＝大阪大学文学部、大阪大学大学院人文学研究科、大阪大学21世紀懐徳堂、大阪大学中之島芸術センター、懐徳堂研究センター

大阪大学総合学術博物館

第26回企画展 **300周年記念 懐徳堂創立**

懐徳堂って知ってほる?

—大阪大学が受け継ぐなにわ町人の学問所

◆豊中会場

会期:令和6(2024)年10月12日[土]~12月7日[土]

開館時間:10:30~17:00(16:30最終入館)

入館料:無料

※日曜・祝日は休館日。ただし、11月3日[祝]、4日(振替休日)は開館。

◆中之島会場

会期:令和6(2024)年10月24日[木]~10月30日[水]

開館時間:10:30~17:00(16:30最終入館)

入館料:無料

※10月28日[月]は休館。

大阪大学の精神的源流の一つである懐徳堂が開かれたのは、今から300年前の享保9(1724)年の秋でした。町人たちが資金を拠出して実現し、享保11(1726)年、幕府の官許を得て「学問所」となりました。

明治となり閉学した学問所を、大阪の街に再興しようと大阪の財界が動き、明治43(1910)年に懐徳堂記念会が作られ、大正5(1916)年に「重建懐徳堂」が建てられました。専属の研究者も置き、京都などから講師を招くなどして、講座も開かれて、大阪の文化的活動を担うこととなりました。

昭和20(1945)年3月の空襲で重建懐徳堂は焼失しました。耐火書庫に収めてあったので焼けずに済んだ書籍が、文科系学部が作られて大阪の文化を担うことが期待される大阪大学に寄贈されることとなり、懐徳堂の精神が大阪大学に受け継がれたのです。

本展覧会では大学所蔵の懐徳堂資料から、懐徳堂の歴史や学問の系譜を示すものを、草創期・繁栄期・終焉期・重建期に分け展覧します。各時期の重要な数点をピックアップし、関係資料をあわせて展示することで、懐徳堂の学問所としての空間、その授業の実態、そこに集った人たちの交流、そこに生まれた文化などを具体的にご覧いただけるものと思います。

展示を通じて、懐徳堂の学問の精神が現在の大阪大学へと継承されていること、大阪の地における学問の命脈を感じ取っていただければ幸いです。

(構成)

- 第1章 草創期 ~「懐徳堂」の名のもとに
- 第2章 繁栄期1 ~中井竹山・履軒の学問世界
- 第3章 繁栄期2 ~懐徳堂をめぐる文化人の交流
- 第4章 終焉期から重建へ ~重建懐徳堂の建築空間



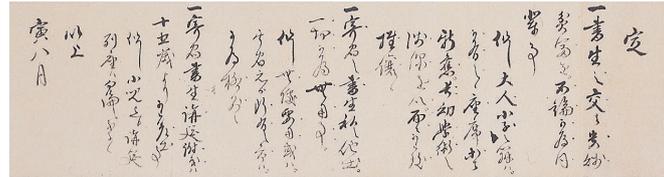
1.



2.



3.



4.

主な出品資料
表面/1. 中井竹山『草茅危言』 2. 五井蘭洲『剛正日本書紀』 3. 中井履軒手製「木製天図」 4. 中井履軒賛・岩崎外筆「解師伐袁図」
裏面/5. 中井竹山『草茅危言』 6. 「宝暦八年定全三条」 7. 中井履軒手製「紙製深衣」 8. 「万年先生論孟首章講義」

※チラシ掲載資料はすべて大阪大学懐徳堂文庫所蔵。

関連イベント

ミュージアムレクチャー

「中井竹山の経世思想—懐徳堂300周年展覧会を楽しむために—」

日時:11月9日[土] 13:30~15:00

講師:湯浅邦弘(大阪大学名誉教授)

会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館3Fセミナー室

※定員30名/先着順、開始30分前受付開始、参加費無料・事前申込不要

懐徳堂300周年記念落語会

「落語と対談で楽しむ なにわ町人の文化・学問」

日時:11月20日[水] 17:30開演

落語:林家染雀

対談:林家染雀(落語家)×橋爪節也(大阪大学名誉教授)

会場:大阪大学会館1F 21世紀懐徳堂スタジオ

※参加費無料・要事前申込(10月上旬受付開始予定)

※詳細は後日下記ホームページに掲載予定



林家染雀

懐徳堂創立300周年記念シンポジウム

「大阪文化の過去・現在・未来 懐徳堂から大阪大学へ」

日時:令和6(2024)年10月26日[土] 14:30~17:10

会場:大阪大学中之島センター10F「佐治敬三メモリアルホール」

基調講演:ロバート キャンベル氏(早稲田大学特命教授・日本文学)

鼎 談:ロバート キャンベル氏

鷲田清一氏(大阪大学元総長・哲学)

飯倉洋一氏(大阪大学名誉教授・日本近世文学)

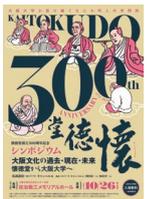
※10月15日[火] 締切、ホームページから要申込み(定員になり次第、締め切ります)

シンポジウム問い合わせ先:大阪大学文学部評価・広報室内

houmon10@let.osaka-u.ac.jp

主催:大阪大学文学部、人文学研究所

共催:一般財団法人懐徳堂記念会、大阪大学21世紀懐徳堂、大阪大学文学部同窓会(待文会)、大阪大学文学会、大阪大学ミュージアム・リンクス(大阪大学総合学術博物館、大阪大学通塾記念センター、大阪大学アーカイブズ)、大阪大学中之島芸術センター



※公共の交通機関をご利用下さい。

豊中会場

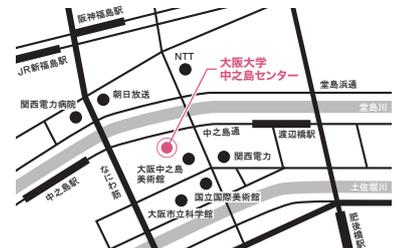
大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館3F 多目的室
〒560-0043 豊中市待兼山町1-20



◎阪急電鉄宝塚線 石橋阪大前駅より徒歩約10分

中之島会場

大阪大学中之島センター4F
大阪大学中之島芸術センター展示室
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53



◎京阪中之島線 中之島駅より徒歩約5分
◎阪神本線 福島駅より徒歩約9分
◎JR東西線 新福島駅より徒歩約9分
◎地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約10分



大阪大学総合学術博物館

電話:06-6850-6284

https://www.museum.osaka-u.ac.jp



懐徳堂300周年記念事業ホームページ

https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/
kaitokudo_300th-anniversary/

